

[Windows、Officeのサポート期限と注意点]

2025年3月8日 河出 修

「はじめに」

長年にわたり使用されてきた「Windows 10」、「Office 2016、2019」が「2025/10/14」でサポートが終了します。この際に「Windows 11」にバージョンアップするのか、「Windows 11」PCに買い替えるのか、また、「Office」は何を選ぶのが良いのかについて解説します。

1. Windowsのサポート期限(個人向け)

Windows の種類	バージョン	サポート期限	備考
Windows 10 Home、Pro	21H2	2023/6/13	サポート終了
Windows 10 Home、Pro	22H2	2025/10/14	
Windows 11 Home、Pro	21H2	2023/10/10	サポート終了
Windows 11 Home、Pro	22H2	2024/10/8	サポート終了
Windows 11 Home、Pro	23H2	2025/11/11	
Windows 11 Home、Pro	24H2	2026/10/13	

2. Windows のバージョン確認方法

- (1)「スタートメニュー」を開く
- (2)「設定」を選択
- (3)「システム」を選択
- (4)「バージョン情報」を確認



3. Windows 11の適応条件

- | | |
|----------|---|
| (1)プロセッサ | ・1GHz以上で2コア以上の64ビット互換プロセッサ(IntelのCPUでは第8世代以降) |
| (2)メモリー | ・4GB以上 |
| (3)ストレージ | ・64GB以上のストレージデバイス |
| (4)TPM | ・TPMバージョン2.0以上 等 |
| ★注意 | ・「Windows 11の適応条件」を満たしていないPCに、「Windows 11」をインストールしたもののが「Amazon」、「Yahoo」等で販売されています。このようなPCは「Windows Update」ではバージョンアップされないので、注意が必要です。 |

4. Microsoft Officeのサポート期限(個人向け永続版)

Office の種類	サポート期限	備考
Office 2016 Personal、Home & Business	2025/10/14	インストールは2台まで
Office 2019 Personal、Home & Business	2025/10/14	同上
Office 2021 Personal、Home & Business	2026/10/13	同上
Office 2024 Home、Home & Business	2029/10/9	同上

★「Office 2024」の「Personal」が「Home」に変更された。

Microsoft Office の種類	含まれるプログラム	Amazon価格	正規価格
Office Personal 2021	Word、Excel、Outlook 他	31,023円	
Office Home and Business 2021	Word、Excel、Outlook、PowerPoint 他	42,980円	
Office Home 2024	Word、Excel、PowerPoint 他	31,023円	34,480円
Office Home and Business 2024	Word、Excel、Outlook、PowerPoint 他	39,582円	43,980円

★「Office Home 2024」には「PowerPoint」が追加され、「Outlook」が無くなった。

★「Office 2024」は「Office 2021」や「Office 2019」、「Microsoft 365」との併用はできない。

5. Microsoft 365(インターネット接続の「Office(AI機能搭載)+ OneDrive(1TB)」

Microsoft 365 の種類	月額料金	年額料金	Amazon料金	備考
Microsoft 365 for the Web	無料	無料	—	Excel、Word、P・P 等の簡易版 +5GB の OneDrive
Microsoft 365 Personal	2,130円/月	21,300円/年	19,170円/年	同時接続は5台まで
Microsoft 365 Family	2,740円/月	27,400円/年	24,660円/年	同時接続は6人まで

★上記すべてに「Microsoft アカウント」が必要。最新の「Office ソフト」等が使用できる。

★「Microsoft 365 Personal」は同時接続は5台迄(PC、タブレット、スマホ)。1TBの「OneDrive」が付く。

★「Microsoft 365 Family」は同時接続は6人迄。各人に1TBの「OneDrive」が付く。

★「Microsoft 365 Family」は家族または友人間で分け合って使用可能。但し、同時接続は6人迄。

6. Microsoft Office のバージョン確認方法

★ Office 2013 以降の場合

Excel または Word を起動し、「ファイル」タブ → 「アカウント」を開くと表示される。



7. Microsoft 365 for the Web (無料版)の利用方法

★「Microsoftアカウント」(メールアドレスとパスワード)を事前に取得しておいてください。

(1) Microsoft 365 for the Web の起動方法

<https://www.microsoft365.com/?auth=1> ★左記URLをクリックすると、「初期画面」が表示される。

The screenshot shows the Microsoft 365 Copilot homepage. At the top, it says 'Microsoft 365 Copilot へようこそ' and 'Subscribed 2 MB 使用済み 30 GB (0%)'. Below is a search bar with the placeholder 'アプリ、ファイル、テンプレートなどの検索'. Under 'New creation', there are icons for various Microsoft services: Word (ドキュメント), PowerPoint (プレゼンテーション), Excel (ブック), Forms (フォーム), Forms (クイズ), Lists (リスト), Designer (デザイン), and Clipchamp (ビデオ). Each service has a small description below its icon.

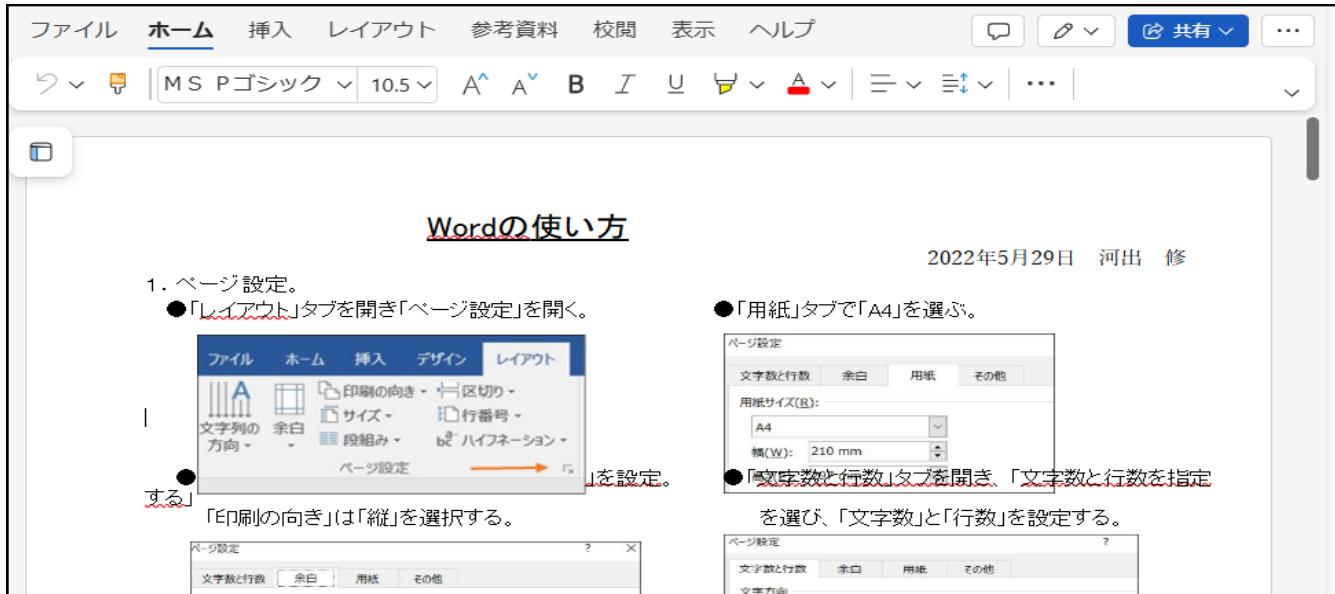
(2) 「Excel(ブック)」の起動方法

・「OneDrive」に入っている「Excel」ファイルをクリックすると、「Excel」画面が表示される。

The screenshot shows the Microsoft Excel application. The ribbon tabs are 'File', 'Home', 'Insert', 'Share', 'Page Layout', 'Number', 'Data', 'Review', and 'View'. The 'Home' tab is selected. The formula bar shows 'J26'. The main area displays a title 'Excel の使い方 2023' and a date '2023年 5月 27日 河出 修'. Below the title, there is a table with rows 5 to 9. Row 5: '1. Excelの基本用語' and '(1) 基本用語一覧'. Row 6: 'セル' (Cell), '表のマス目1つ1つを「セル」といい、入力対象セルを「アクティブセル」という. Row 7: 'ワークシート' (Worksheet), 'セルで構成されている、1枚を「シート」という。 Row 8: 'ブック' (Book), 'Excelではワークシートの集まり(ファイル)をブックという。'. Row 10: '(2) ワークシートの構成'. Row 11: '(3) セルの位置の表し方'. A callout box points to the formula bar with the following text: '● アクティブセルの番地は「○列目の×行目」で表す (例:「A1」「B2」「A1:C3」)'. Another callout box points to the bottom right corner of the screen with the text: '● 他シートのセル参照 「シート名!セル番地」が必須'.

(3) 「Word(ドキュメント)」の起動方法

- ・「OneDrive」に入っている「Word」ファイルをクリックすると、「Word」画面が表示される。
- ・「外墨線」が表示されない、画像がずれる等の問題がある。



(4) 「PowerPoint(プレゼンテーション)」の起動方法

- ・「OneDrive」に入っている「PowerPoint」ファイルをクリックすると、「PowerPoint」画面が表示される。



★「Microsoft 365 for the Web (無料版)」は従来の「Office」との互換性に問題あり。

8. オフィスソフトの選択について

(1) Microsoft社の個人向け製品

- ・「Office Home and Business 2024」が望ましいが、非常に高額。(Amazon価格で39,582円/2台)
- ・「Office Home and Business 2024」は「Microsoft 365」と併用ができない。
- ・「Microsoft 365 Personal」は5台まで使えるとはいえるが、Amazon価格で19,170円/年は高いと思う。
- ・「Microsoft 365 Family」は6人まで使えるので、家族や友人と分け合って使えばAmazon価格で24,660円/年は割安な気がする。また、AI機能が使えるのが魅力です。
- ・「Microsoft社」は「Microsoft 365」をすすめているようです。

(2) Microsoft社の法人向け製品の転売品

- ・「Yahooショッピング」等で法人向けの「Microsoft Office Professional Plus 2024」が千円以下で販売されている。これは業者が法人向け「Microsoft Office 2024」のボリュームライセンスを個人に転売しているものです。
- ・この転売品はPC1台にしかインストールできない。インストール作業の認証段階でうまくいかないことがあります。業者のサポートが必要になります。
- ・「YouTube」を見ると転売品は「違法ではない」という記事が掲載されていますが、これは欧州の裁判例です。日本ではMicrosoft社のサポートが受けられないので注意が必要です。